

在シドニー総領事通信

第 66 回 ファイルズ北部準州首席大臣の訪日

令和 4 年（2022 年）8 月 1 日



ファイルズ北部準州首席大臣と三宅外務大臣政務官の懇談
(2022 年 7 月 19 日、ファイルズ首席大臣 Facebook)

北部準州（NT）のファイルズ首席大臣は、7 月 18 日から 21 日まで[日本を訪問](#)しました。5 月 13 日に就任してから初めての外国訪問です。北部準州首席大臣による訪日は 2018 年 11 月のガナー前首席大臣以来約 4 年振りで、ファイルズ首席大臣自身、日本に行くのは初めてとのことでした。

今回の総領事通信では、ファイルズ首席大臣の訪日の概要と成果について報告するとともに、今後の日本と北部準州の関係の更なる発展に向けての取組について考えたいと思います。



ファイルズ首席大臣 Facebook に掲載された安倍元総理との写真
(2022 年 7 月 8 日掲載、2018 年 11 月 17 日当時の写真)

●三宅外務大臣政務官との懇談

ファイルズ首席大臣は、到着翌日の 7 月 19 日に、ピーター・ロバーツ臨時代理大使主催の大使公邸昼食会で[三宅伸吾外務大臣政務官と懇談](#)しました。

三宅政務官から、就任後初の外遊先として日本を訪問したファイルズ首席大臣を歓迎するとともに、北部準州はエネルギー安全保障等の観点から重要なパートナーであり、日豪の「特別な戦略的パートナーシップ」を一層深化させたい旨述べました。また、安倍元総理の逝去を受けて、ファイルズ首席大臣が同元総理のダーウィン訪問の写真とともに心からの哀悼の意を Facebook 上で伝えたことに対して謝意を伝えました。

ファイルズ首席大臣からは、LNG、CCS（二酸化炭素の分離・回収及び貯留）や水素を含む幅広いエネルギー分野で協力が進んでいる旨述べ、両者は今回の訪日を契機に北部準州と日本との関係強化を進めていくことで一致しました。



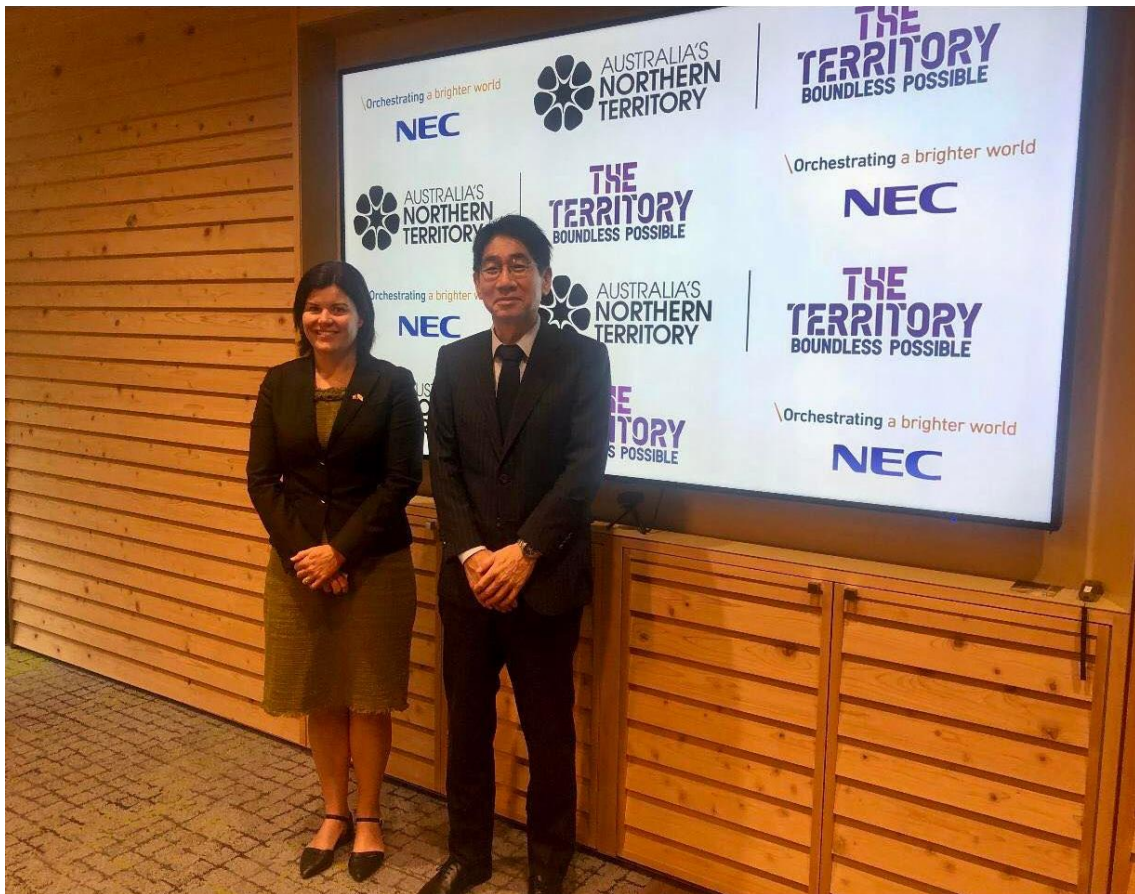
北村 I N P E X 会長、ファイルズ首席大臣、上田 I N P E X 社長
(2022 年 7 月 20 日、ファイルズ首席大臣 Facebook)

● I N P E X との合意文書署名

北部準州では、I N P E X がオペレーター（操業主体）となり、日本企業としては世界最大級の海外投資であるイクシス LNG プロジェクトを推進しています。日本と北部準州双方の経済に大きく貢献し、正に日豪協力の象徴です。7 月 20 日、ファイルズ首席大臣は I N P E X の北村会長、上田社長と会談し、コミットメント宣言書を締結しました（[北部準州政府](#)・[I N P E X](#) 報道発表）。

この宣言書は、将来のネットゼロカーボン社会と新たな競争環境での経済的・社会的な発展を目標として、北部準州と I N P E X の間の更なる協力関係を目指して署名されたものです。

今後、LNG 生産能力の増強と陸上精算施設の拡張、アジア・オセアニア地域での安定的でクリーンなエネルギーの供給の強化、ダーウィン CCUS ハブの I N P E X をオペレーターとする推進、現地人材開発とサービス供給能力の向上、再生可能エネルギーの目標設定等に向けて、協議が行われる予定です。



ファイルズ首席大臣と森田NEC社長（2022年7月19日）

●NEC本社の訪問

また、ファイルズ首席大臣は19日午後にNEC本社を訪問・視察し、森田社長はじめ幹部との意見交換を行いました。

北部準州とNECは、本年4月に[協力文書（M o U）](#)を締結し、北部準州の持続可能なイノベーション・エコシステムの発展とデジタル能力の強化に向けて協力することで合意しています。これは、昨今の北部準州での光ファイバー海底ケーブルやデータセンターの整備を受けてのものです。

この協力文書により、北部準州政府とNECの両方で主要なデジタル開発分野を特定し、NECは海底ケーブル、5G、AIなど世界最先端の技術の導入や現地の産業人材開発での協力を検討し得るとされています。

NECは、北部準州で既に約200人を雇用しています。今後、NECが北部準州と日本の経済関係の強化に大きく貢献することを願っています。



8回目のダーウィン出張時にダーウィン空港にて（2022年6月6日）

●北部準州との更なる関係強化に向けて

更に、ファイルズ首席大臣は7月20日に、飛行艇開発に関する北部準州企業AAI（Amphibian Aerospace Industries）と新明和工業の[事業協力文書の署名](#)に立ち会いました。新明和工業は兵庫県宝塚市新明和町に本社がある創業100年以上の会社で、US-2救難飛行艇を開発しました。AAIは今後ダーウィンで豪州初の飛行艇製造・輸出に取り組む中で、北部準州政府の助成を受けています。

また、ファイルズ首席大臣は同日、約20社の日本企業に投資説明会を行い、クリーンエネルギーや重要鉱物、航空宇宙分野でのビジネス機会を紹介しました。

今回のファイルズ首席大臣の訪問により、これまで約2年半、8回にわたりダーウィンを訪問して取り組んできた諸案件が大きく進展したと感じています。これらが着実に具体化するように、観光や文化・人的交流なども含めて、日本と北部準州の幅広い協力を更に推進していきたいと思っています。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦